科目名	数学・物理学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Mathematics･Physics			総時間数	30	単　位	2
学　年	1	学　期	後期	曜　日	水土	時　限	5･6

担当教員	中村 薫平	実務者経験	2020.4-関西学院大学　講師

学習内容	公務員採用試験に対応できるための、数学分野及び理科(物理)分野の基礎について、その理解を進める。
到達目標	高校までの数学を復習しながら公務員(就職)試験に合格するレベルの理解が出来る。

準備学習 時間外学習	講義終了後の復習は各自で必要
使用教材	TAC数学・数的推理 、プリント資料等
留意点 備　考	

成績評価	終講義試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	公務員採用試験 概要　ガイダンス	公務員採用試験に向けての学習の進め方 問題の出題傾向等に関する説明等
2	整式の計算	式の項、係数、次数、同類項、式の整理等に関する説明 同範囲のテキスト演習問題の解説および演習解説
3	乗法公式	多項式の展開、乗法公式の利用 同範囲のテキスト演習問題の解説および演習解説
4	因数分解	共通因数、因数分解の公式利用、複雑な因数分解 同範囲のテキスト演習問題の解説および演習解説
5	平方根の性質、有理化、計算	平方根の基本性質、有理数と無理数、分母の有理化等 基本的な計算問題演習と解説
6	平方根を含む総合計算問題、二重根号	分母の有理化を伴う計算問題、 二重根号のはずしかた等
7	連立方程式、二次方程式①	連立方程式の解法 二次方程式の解法：因数分解、解の公式利用等
8	連立方程式、二次方程式②	同　文章問題への利用 同範囲の演習問題の解説および演習解説
9	一次関数とグラフ	グラフの傾き、切片、方程式との関係等 同範囲のテキスト演習問題の解説および演習解説
10	二次関数とグラフ	基本形、一般形、標準形の特徴と性質 方程式との関係等
11	関数とグラフの利用	判別式の利用とχ軸との交点について 解の公式と虚数についての説明
12	二次関数の最大・最小値	二次関数の最大・最小値 定義域のある場合の最大値、最小値の求め方等
13	加速度運動 物体の落下運動	加速度運動と物体の移動距離等 自然落下運動、水平投射、上方投射
14	電気回路	オームの法則の利用 回路中の全抵抗、全電流、部分電圧等の求め方等
15	終講時試験	

科目名	生物学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Biology			総時間数	16	単　位	1
学　年	1	学　期	前期	曜　日	土	時　限	5･6

担当教員	井上　努	実務者経験	

学習内容	公務員・社会人として求められる一般知識が習得できる。
到達目標	公務員試験の生物分野で出題される内容を習得し、公務員試験が解けるようになる。

準備学習 時間外学習	配布されたプリントについて、事前に目を通しておく。
使用教材	プリント配布
留意点 備　考	

成績評価	筆記試験で評価する。

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	細胞	細胞小器官の構造、はたらきについて学習する。 細胞の構造に関する専門用語を理解し、説明できる。
2	細胞	細胞小器官の構造、はたらきについて学習する。 細胞の構造に関する専門用語を理解し、説明できる。
3	光合成	植物の葉緑体の特徴、光合成のしくみについて学習する。 光合成に関する専門用語を理解し、説明できる。
4	光合成	植物の葉緑体の特徴、光合成のしくみについて学習する。 光合成に関する専門用語を理解し、説明できる。
5	血液	血液の組成、循環について学習する。 血液に関する専門用語を理解し、説明できる。
6	血液	血液の組成、循環について学習する。 血液に関する専門用語を理解し、説明できる。
7	恒常性 （ホメオスタシス）	神経系、ホルモンについて学習する。 恒常性に関する専門用語を理解し、説明できる。
8	試験	試験

科目名	文章読解(国語・英語)			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Reading Comprehension			総時間数	16	単 位	1
学 年	1	学 期	後期	曜 日	火	時 限	5･6

担当教員	南 雅子	実務者経験	1989年より医療系専門学校にて医療英語指導/医師、看護師、薬剤師、理学療法士などへの英語指導/予備校において教養科目の試験対策分析および指導。

学習内容	公務員、社会人として求められる一般知識の養成を通して基礎学力をつけていき、様々な文章読解問題を解きながら、その解説授業の中で力をつけていく。
到達目標	文章読解問題に対応できる基礎力をしっかりつけた上で、多くの問題を解き問題解法のために知っておきたい大切な知識をつけていくようにする。

準備学習 時間外学習	一般許容問題を理解していくために、各自がこれまでの言語の基礎知識を見直すことが望ましい。
使用教材	プリント教材
留意点 備 考	基礎知識のための配布資料などを各自まとめていくことを勧める。

成績評価	終講義試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	文章読解１	文章読解問題/文法問題/一般常識問題/四字熟語(1)/英語長文問題 公務員教養試験における文章読解分野の概要をつかむことを目標とする。
2	文章読解２	現代文(内容把握問題)/四字熟語(2)/頻出英単語 (国際情勢)/掲示表現/就職教養英語問題 現代文の内容把握問題および英語の教養問題に慣れることを目標とする。
3	文章読解３	現代文(空所補充)/漢字問題/四字熟語(3)/英語長文問題/頻出英単語(環境問題)/英語ことわざ 現代文空所補充問題の練習、基礎的な言語問題を理解することを目標とする。
4	文章読解４	現代文 (整序問題)/よく使う表現/言語能力試験/英会話問題/頻出英単語(福祉など) /英文法 現代文整序問題の練習、英会話に関連する英語問題を理解することを目標とする。
5	文章読解５	総合演習問題(内容把握、整序問題、空所補充、漢字、文法、英語長文)/英語空所補充問題 総合問題を解くことにより、問題全体を把握して取り組むことができることを目標とする
6	文章読解６	SPIの問題/国文法(助詞、助動詞、接続)/グループワーク(英会話表現練習)/TOEICの英語問題 発表練習をグループですることにより、英会話の様々な表現を学ぶことを目標とする。
7	文章読解７	文章読解/漢字問題/四字熟語/敬語、謙譲語/英文法一空所補充 試験対策学習をおこなうことにより、これまで学んだ基礎知識の定着を目標とする。
8	文章読解８	文章読解試験/試験終了後問題の解説 試験後の問題解説を一緒に行うことで、重要ポイントの見直しと知識の定着を目標とする。

科目名	情報科学			必修/選択	必修	授業形式	演習
【英】	Information Processing			総時間数	32	単　位	1
学　年	1	学　期	前期	曜　日	木	時　限	5･6

担当教員	永野　千恵美	実務者経験	1986年よりコンピュータ関係のインストラクタとして従事 1990年より、大学・専門学校・高校にて情報処理関係の講師として勤務

学習内容	コンピュータの基本操作、ITリテラシーの習得
到達目標	Wordによる各種文書作成、Excelによる表計算・グラフ作成・データベースなどの作成活用できるレベルへの到達

準備学習 時間外学習	授業内容の復習
使用教材	「繰り返して慣れる！Office演習ドリル　全489題」
留意点 備　考	継続してデータを使用するため作成データの保存を必ず行う事

成績評価	筆記40%　実技60%

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	オリエンテーション	PC・OS基本操作、文字入力
2	ビジネス文書	文書作成、基本的なビジネス文書（社外・社内文書）
3	表作成	表作成
4	表入り文書	表入り文書の作成
5	オブジェクトの扱い	ワードアート、クリップアート、図形
6	図入り文書作成	ワードアート、クリップアート、図形などを取り入れた文書作成
7	復習	ドリル
8	Wordテスト	Word知識・実技試験
9	Excel概要 基本操作	データ入力、書式設定
10	計算式	四則演算、関数
11	計算式	様々な関数
12	グラフ作成	様々なグラフ作成、編集
13	グラフ作成	様々なグラフ作成、編集
14	データベース	データの並べ替え、抽出
15	復習	ドリル
16	Excelテスト	Excel知識・実技試験

科目名	教育学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Pedagogy			総時間数	16	単　位	1
学　年	1	学　期	前期	曜　日	木	時　限	5･6

担当教員	近藤凜太朗	実務者経験	

学習内容	社会現象としての教育を分析し、教育活動と社会との関連を読み取る。
到達目標	これまで受けてきた教育さらには現代社会を批判的に問い直し，一市民として社会の中で生活する力と洞察力を身につける。

準備学習 時間外学習	特に教育に関するニュースなどを把握しておく。
使用教材	授業内でプリントを配布する。
留意点 備　考	ただ講義を聞くだけでなく，自身の経験に結びつけて考察・復習し，主体的に授業に参加すること。

成績評価	期末試験で評価する。

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	日本の教育制度	現代日本の教育制度を概観し、教育事象を考えるための基礎的知識を身につける。
2	社会の不平等と教育	学校教育と社会的不平等の結びつきについて学び、教育を批判的に捉える視点を獲得する。
3	ジェンダーと学校教育	社会的・文化的な性別（ジェンダー）にもとづく差別問題と学校教育の関係について学ぶ。
4	子どもの貧困	子どもをとりまく貧困問題の背景と、学校教育との関わりを考える。
5	社会教育と生涯学習	社会教育・生涯学習政策の歴史を概観し、学校外の学びを公的に保障する意義を考える。
6	女性問題学習	女性を主体とする社会教育実践の歴史から、女性差別の撤廃に向けた学びのあり方を考える。
7	メディア・リテラシー	マスメディアが発信する情報や表現について批判的に捉える視点を身につける。
8	まとめと試験	全体の振り返り、および筆記試験を行う。

科目名	心理学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Psychology			総時間数	16	単　位	1
学　年	1	学　期	後期	曜　日	木	時　限	5･6

担当教員	内藤　みなみ	実務者経験	臨床心理士・公認心理士として、クリニック・大阪府立学校スクールカウンセラーとして勤務の後、大学にて学生相談センターで業務に就かれている。

学習内容	救急救命士は緊迫した状況の中で冷静な判断を求められることが多い。人のこころを理解することは職業場面だけではなく、生きていく上でも自己理解や他者理解につながり、有意義であると考えられる。人のこころをさまざまな視点から学び、理解を深める。
到達目標	①心理学に関する基本的な仕組みや働きを修得する ②自己理解や他者理解につなげる

準備学習 時間外学習	配布プリントでの復習
使用教材	配布プリント
留意点 備　考	ワークを通して、体験的な学びが修得できると望ましい

成績評価	筆記試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	「こころ」とは何か 心理学で何を学ぶのか	「こころ」の歴史、「心理学」の成り立ちについて説明する。 人の感覚・知覚について紹介し、日常場面での物事のとらえ方を学ぶ。
2	心の働きについて ―「学習」を中心に―	「学習」にはさまざま種類がある。 人が物事を学び、修得する経緯について理解を深める。
3	自分らしさって何？ どうやって決まるのか	「自分らしさ」とは何か。 性格という視点を中心に、自分について理解を深め、他人との関わりについて考える。
4	人と人、集団と集団に 生まれる心理学とは	社会には個人、集団などさまざまな対人関係がある。 対人関係の中で生じる心理的現象について紹介し、人の行動について学ぶ。
5	人はどのように 発達・成長するのか	人は一生涯、発達し続けると言われてる。 各年代の心理的特徴や心理的課題について理解し、自分にとっての「成長」について考える。
6	ストレスとセルフケア	ストレスについて学び、セルフケアについて考える。 震災場面のストレスについても説明する。
7	心が持つ自分を守る 機能	心の不調について学び、それを防ぐための心の機能について紹介する。
8	最終講義試験	試験

科目名	法と倫理			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Law & Ethics			総時間数	20	単　位	1
学　年	1	学　期	前期	曜　日	水金	時　限	5･6

担当教員	中村 薫平	実務者経験	2020.4-関西学院大学　講師

学習内容	「法と倫理」と題する本講においては、法の分野では法規範についての一般的理解ならびに日本国憲法における基本的人権の概要について、倫理の分野では近代市民社会および自然権思想の成立過程における思想的背景について、それぞれ講じる。また、受講生は、各種資格試験の突破ならびに将来の業務遂行および学習のために必須である基本的な文章作成/読解訓練も行う。
到達目標	上記の学習内容について、地方公務員消防職採用試験(初級程度)に合格できる水準の知識の獲得を目標とする。

準備学習 時間外学習	下記の参考書および授業配布資料ならびに自作ノートを講義の事前事後に読了することで、理解度を飛躍的に高めることができる。 また、講義の前後あるいは講義中を問わず、質問は常に歓迎される。
使用教材	東京アカデミー[編]，『オープセサミシリーズ 国家公務員・地方初級 ①政治・経済・社会』，七賢出版株式会社. ・授業配布資料
留意点 備　考	本講は、特定の思想的・政治的態度を受講生に強要するものではない。但し、政治に言及する者は、どのような場合であっても彼自身の政治的態度の表明を避けることはできない。その一方で、諸君が将来受験する試験は、国民国家の行政機関によって作成された適格者の選別試験である。したがって、教員は諸君の公務員試験への対策という目的に適うように、現在の日本国政府において支配的な思想的・政治的立場に基づいて講義を行うことに留意されたい。

成績評価	終講義試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	法１ 法とは何か	法の基本について学び、以降の講義を理解するための基盤を習得する。
2	法２ 日本国憲法の概要	日本国憲法の基本原理を学び、日本国憲法の概要を習得する。
3	法３ 基本的人権	基本的人権についての概要を学び、基本的人権の重要性を理解する。
4	法４ 裁判制度	司法権や裁判所の在り方について学び、現代社会における裁判制度の重要性を理解する。
5	法５ 医療と法	救急救命士にとって重要な医療に関する法を学ぶことで、その意義を理解する。
6	倫理１ 倫理とは何か	倫理、倫理学とは何かということを学ぶことで、以降の講義のための基盤を習得する。
7	倫理２ 倫理と思想	古代からの哲学・倫理学思想の基礎を学ぶことで、倫理的に考えるための基礎を習得する。
8	倫理３ 医療と倫理１	医療に関わる倫理的問題の中で安楽死や臓器移植などを学ぶことで、医療倫理の基礎を習得する。
9	倫理４ 医療と倫理２	医療現場での倫理的問題を具体的に考察することで、現場での倫理的判断の基礎を習得する。
10	終講試験	法と倫理の両分野について空欄補充および選択式の問題による試験を行う。

科目名	社会学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Sociology			総時間数	24	単　位	1
学　年	1	学　期	後期	曜　日	土	時　限	5･6

担当教員	中村 薫平	実務者経験	2020.4-関西学院大学　講師

学習内容	労働、消費、社会保障、人口、環境、文化についての基礎を学ぶ。また問題演習を通して公務員試験への対策も行う。
到達目標	公務員・社会人として求められる教養知識を習得するとともに公務員試験地方初級程度で出題される社会学分野の基礎を習得する。

準備学習 時間外学習	下記の教科書の読了するとともに、報道に関心をもっておくこと。
使用教材	『オープンセサミシリーズ国家公務員・地方初級①政治・経済・社会』（七賢出版）　および　配布資料
留意点 備　考	講義は配布資料に基づく。講義内で考えてもらう時間を作るので、主体的に参加すること。

成績評価	終講義試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	労働問題と消費者問題１	労働三権と労働三法、および労働に関わる法について学ぶことで、労働関係の基礎を習得する。
2	労働問題と消費者問題２	労働事情について統計などを参照しながら学ぶことで、労働事情についての基礎を習得する。
3	現代社会の特質と文化１	大衆社会・管理社会および情報化社会の諸特徴について説明できる。
4	現代社会の特質と文化 2	公共的な意見の形成と民主制との関係について基本的理解を得る。
5	ジェンダーとフェミニズム1	ジェンダーとフェミニズムに関する基本的な知識を学ぶ
6	ジェンダーとフェミニズム2	ジェンダーとフェミニズムに関する応用的な問題について知る
7	国際社会 1	国際社会を構成するの基本的な組織について学ぶ
8	国際社会 2	グローバリズムとそれに由来する問題について学ぶ
9	国民国家とナショナリズム１	国民国家とナショナリズムについて、基本的な用語を用いて説明できる。
10	国民国家とナショナリズム２	国民国家とナショナリズムについて、具体的な問題を挙げながら説明できる。
11	練習問題への挑戦	これまでの講義を振返り、過去問や模擬試験から構成された練習問題に挑戦する。
12	終講試験	試験は、全問択一式の記号問題で出題される。

科目名	医療英語			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Medical English			総時間数	16	単　位	1
学　年	1年	学　期	前期	曜　日	火	時　限	

担当教員	南　雅子	実務者経験	1989年より医療系専門学校にて医療英語指導/ 医師、看護師、薬剤師、理学療法士、東洋医療治療し、スポーツ関係者への英語指導

学習内容	救急救命士としておさえておきたい基礎医療英語(症状名、バイタル、病院各科、身体名、内臓器官、組織、血液、神経、医療略語)の　習得と、救急現場で必要な専門用語や救急対応に使う表現などを学ぶ。
到達目標	医療従事者を目指す上で知っておきたい基礎医療英語を習得した上で、救急救命におけるさまざまな英語表現などを使えるようにする。

準備学習 時間外学習	医療英語を学ぶ上での、医療や人体における基礎知識を医療や救急救命の授業できちんと習得しておくことが望ましい。
使用教材	教科書　『MEDICAL ENGLISH COMMUNICATION』(国際教育社)　　教材プリント
留意点 備　考	実際の救急救命現場で使えるさまざまな英語資料の提供と使いかたの実践も行う。

成績評価	現場で使う内容や用語の口頭による発表および試験の実施(状況により試験形式の検討あり)　前期末試験80%＋口頭試験20%で評価する

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	医療英語１	授業内容の解説/救急救命関連用語、フレーズ/感染症の最新英語/痛みについて/Ch.1,2 受付、病院各科
2	医療英語２	救急現場での用語、対応/Ch.3 人体の名称、痛みの種類/顔の名称/組織、骨、筋肉 救急救命の現場対応で知っておきたい表現を学び使えるようになることを目標とする。
3	医療英語３	救急救命-事故、災害時の対応/内科、外科問診票/Ch.4,5,6 症状、内臓器官、内科、問診 災害時や事故現場での対応表現及び症状名などを理解し使えるようになることを目標とする。
4	医療英語４	緊急時の対応/病院会話のヒント/Ch.7,8 身体測定、内科診察バイタルサイン/多言語問診票　　バイタルで使う用語と診療のための表現を使えるようになることを目標とする。
5	医療英語５	トリアージ/救急救命関連資料/Ch.11救急患者/救急時の対応英会話(リスニング) /Ch.17薬　　救急時の対応英会話のリスニング練習により現場の英語に慣れることを目標とする。
6	医療英語６	救急現場での対応/Ch.18カルテ/CPR,AEDに使える表現/緊急時の電話対応　　救急現場で使う英語の発話練習を目標とする
7	医療英語７	医療英語試験対策学習(救急救命/バイタル/症状/痛み/身体/内臓器官/医療略語/救急疾患)　　医療英単語、フレーズの口頭試験による発話機会と定着を目標とする。
8	医療英語８	医療英語試験

科目名	英会話			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	English Conversation			総時間数	16	単　位	1
学　年	1	学　期	後期	曜　日	金	時　限	5･6

担当教員	ILC講師(ケビン・リュウジン)	実務者経験	英語教授資格を持ち、滋慶学園やその他教育機関において、基礎英語、また医療英語の教育に携わってきた。

学習内容	ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。
到達目標	意見を交換したり自分の考えを表現する場で、的確な英語の文法を使って会話をすることができるようになる。授業内でのスピーキング・リスニング練習を通して、国際的な環境で相手の話を理解したり自分の意図を伝えることができるようになる。

準備学習 時間外学習	授業を受けるにあたり、中学と高校の英語の復習をしておきましょう。
使用教材	プリント配布
留意点 備　考	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加する。 基礎英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問する。

成績評価	終講義試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	イントロダクション	オリエンテーションとクラスメイトの自己紹介
2	Be動詞を使った英会話	"Is…?"と "Are…?" 疑問文と答え・食べ物& 国籍に関する形容詞を学ぶ。
3	疑問系(5W1H)を使った英会話	"Where/What/Why…?"を使った疑問文と答え・スポーツに関する形容詞を学ぶ。
4	語彙と意見	likeとdislikeを使った自分の感情表現方法を学ぶ。
5	語彙と意見2	want toやpefer toを使用して趣味と余暇活動の計画についての表現を学ぶ。
6	語彙と意見3	How oftenを使った頻度を尋ねる表現を学ぶ。
7	復習	総まとめ
8	復習、学期末試験	終講義試験

科目名	保健・体育学			必修/選択	必修	授業形式	演習
【英】	Health & Physical Education			総時間数	20	単　位	1
学　年	1	学　期	後期	曜　日	木曜日	時　限	5･6

担当教員	植田　英樹	実務者経験	プロバスケットボールチーム西宮ストークス元トレーナー 柔術環太平洋大会Rob William選手金メダル取得時帯同トレーナー ルークス芦屋クリニックパーソナルトレーナー NSフィットネスパーソナルトレーナー 関西健康科学専門学校　非常勤講師（2016～）

学習内容	体力測定と各測定種目に対する自主トレーニングの理論と実践。
到達目標	就職に関する体力試験に向けて必要な心肺機能、柔軟性、筋力（瞬発力、筋持久力）、アジリティ能力の獲得、又はその能力向上の為の理論や方法について習得する。現時点での各自の体力レベルの把握。

準備学習 時間外学習	授業で学んだ事を各自の時間に自主的にトレーニングをする事が必要。
使用教材	なし
留意点 備　考	なし

成績評価	1stテスト10%＋シャトルラン10%＋2ndテスト40%＋伸び率20%＋補正値20%＝100%とする。

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	体力テスト(1st) ①	文部科学省の新体力テストを参考に体力テスト実施。 握力（スメドレー式）。　体前屈ｘ２。　　上体起こし30秒ｘ１。
2	マシン使い方①	トレーニングルームのマシンの使い方の説明。 Q&A。　　セルフストレッチ。
3	体力テスト(1st) ②	懸垂。　腕立て伏せ（顎を床につける）。（立ち幅跳び）
4	マシン使い方②	マシンの使い方、トレーニング方法の詳細を追加説明。　Tabata、懸垂対策等。
5	体力テスト③ トレーニング方法基礎	反復横とび（100ｃｍ間隔）20秒ｘ２。　　２０ｍシャトルランｘ１。 基礎的なトレーニングの知識と方法の説明。
6	トレーニング理論と実践	効く筋トレ（Concentric　Contraction, Eccentric Contraction） 腕立て伏せ、スクワットの正しいフォーム等について。
7	体力測定(2nd)	文部科学省の新体力テストを参考に体力テスト実施。 握力（スメドレー式）。　体前屈ｘ２。　　上体起こし30秒ｘ１。
8	体力測定(2nd)	懸垂。　腕立て伏せ（顎を床につける）。（立ち幅跳び）
9	体力測定(2nd)	反復横とび（100ｃｍ間隔）20秒ｘ２。
10	体力測定(2nd)	Q&Aと希望するトレーニングやその説明やQ&Aを実施。　リクリエーション種目。
11	体育大会	1年次体育大会
12	体育大会	〃
13	体育大会	2年次体育大会
14	体育大会	〃
15	体育大会	3年次体育大会
16	体育大会	〃

科目名	解剖学・生理学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Anatomy･Physiology			総時間数	46	単　位	3
学　年	1	学　期	前期	曜　日	火木	時　限	5･6

担当教員	稲垣　忍 山本貴啓	実務者経験	稲垣　忍:10年以上、大学で医療従事者の専門基礎教育に携わる 山本貴啓:理学療法士として、総合病院、介護保険施設等で実務経験あり

学習内容	細胞から組織、器官系、固体としての人体に至る構造と機能について学習し理解する。
到達目標	救急救命士として必要な解剖生理の基礎知識が理解でき、適切な解剖学用語と生理学用語を用いて具体的に説明できる。

準備学習 時間外学習	レポート課題等
使用教材	救急救命士標準テキスト（上巻）・ヒューマンボディ
留意点 備　考	

成績評価	終講時の筆記試験で60%以上正解すること

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	2体表からみる人体	生命現象と人体について学習・理解する
2	1人体構成要素	人体の構成要素である細胞や組織・器官について学習・理解する
3	2体表からみる人体	
4	5 呼吸系	呼吸と呼吸運動の仕組みとガス交換について学習・理解する
5	6 循環系	心臓と血管の働きや調節の仕組みについて学習・理解する
6	3神経系	神経の興奮と伝導・末梢神経系について学習・理解する 中枢神経系と脳血管について学習・理解する
7	8 泌尿系	尿の生成と排泄のための構造と仕組みについて学習・理解する 生物の存続の為の構造や機能・発生について学習・理解する
8	7 消化系	消化器の構造と役割について学習・理解する
9	12 筋･骨格系	運動器の構成や構造・仕組みについて学習・理解する
10	10 内分泌系	特に植物機能を制御し維持する液性分子について学習・理解する
11	11 血液･免疫系	血液の構成と維持・生体防御に関わる免疫の仕組みについて学習・理解する
12	解剖生理試験	

科目名	生化学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Biochemistry			総時間数	16	単　位	1
学　年	1	学　期	前期	曜　日	水	時　限	6

担当教員	福岡　知也	実務者経験	医学博士(生理系) 1973-2005まで大阪大学にて研究助手

学習内容	生化学では、ヒトの生命現象を元素・分子レベルでの化学的領域と、細胞・個体レベルでの生物学的領域を統合的に幅広く学習する。それにより疾患の成立原因と回復過程を生化学的に理解し、救命救急士としての基礎的知識の習得を目指す。
到達目標	生命維持のための代謝、代謝異常(糖代謝異常，アミノ酸代謝異常，脂質代謝異常）とその疾患について理解できる。ビタミン異常，そのほか電解質異常，栄養障害など理解できる。

準備学習 時間外学習	生物と化学に関する基礎的な事項の予習が必要。復習プリントを用いた授業内容の復習を行う。
使用教材	救急現場の救急医療（薬理学・生化学・栄養学）荘道社、配布プリント
留意点 備　考	救急救命士標準テキスト　11版

成績評価	期末試験100%で評価する。

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	生化学１	総論：生命現象の化学 生体構成成分と代謝，異化系と同化系が説明できる。
2	生化学２	細胞 細胞内小器官の構造と機能が説明できる。
3	生化学３	タンパク質代謝 アミノ酸代謝、窒素平衡とアンモニアの運命、尿中の窒素化合物とその異常について説明できる。
4	生化学４	糖質代謝 糖の種類、解糖反応とエネルギー産生系、糖質代謝障害について説明できる。
5	生化学５	脂質代謝 脂質の種類、脂肪の吸収とβ酸化、脂肪肝と動脈硬化について説明できる。
6	生化学６	酵素、ビタミン 酵素の種類と働き、糖質・脂質・タンパク質代謝異常について説明できる。
7	生化学７	ホルモンと血液 血球細胞とその働き、ホルモンの種類やその働きと疾患、電解質異常について説明できる。
8	試験	

科目名	病理学・法医学(病理学)			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Pathology			総時間数	18	単　位	法医学とあわせて2
学　年	1	学　期	前期	曜　日	月	時　限	5･6

担当教員	酒井　学	実務者経験	平成18年8月1日から平成20年10月15日まで国立法人神戸大学医学部附属病院中央検査部、平成20年10月16日から現在まで国立法人大阪大学歯学部附属病院検査部にて臨床検査業務を担当している。令和5年4月1日から天理大学医療学部臨床検査学科所属、教育に携わっている。

学習内容	救急救命士に最低限必要となる基礎医学分野の病理学を学ぶ。
到達目標	臨床の現場において必須となる病理学の知識の習得を目指す。

準備学習 時間外学習	病理学と共に解剖学と生理学の平行した学習が必要である。
使用教材	救急救命士標準テキスト第11版　　出版社（へるす出版）　、配布プリント
留意点 備　考	毎授業後に小テストを実施。

成績評価	終講義テストを100%で評価する。

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	病理学とは？、細胞傷害について	病理学とは何かを説明できる。
2	病理学とは？、細胞傷害について	細胞傷害の原因と関連疾患について説明できる。
3	先天異常、循環障害について	先天異常原因と関連疾患について説明できる。
4	先天異常、循環障害について	循環障害の原因と関連疾患について説明できる。
5	炎症、免疫異常について	炎症との原因と関連疾患について説明できる。
6	炎症、免疫異常について	免疫異常の原因と関連疾患について説明できる。
7	感染症、腫瘍について	感染症との原因と関連疾患について説明できる。
8	感染症、腫瘍について	腫瘍の原因と関連疾患について説明できる。
9	試験	期末テスト

科目名	病理学・法医学(法医学)			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Forensic Medicine			総時間数	14	単　位	病理と合わせて2
学　年	1	学　期	前期	曜　日	水	時　限	5･6

担当教員	石田　季子	実務者経験	2016年4月より 大阪大学法医学教室特任助教、大阪府監察医事務所監察医として実務経験

学習内容	人体が死によってどのように変化するのか、原因ごとにどのような所見が見られるのかを学習する。また、死にまつわる公衆衛生的事項についても概説する。
到達目標	疾病や損傷などが人体の限界を超えて作用した、普遍的で不可逆で不可避な状態が死であるため、医療の場においてはいつでも遭遇しうる。法医学的知識の修得により、プロフェッショナルとして死者を遇することができるようになることが目標である。

準備学習 時間外学習	テキストを読んでおくこと。解剖学・救急医学などの復習がなされているとなおよい。
使用教材	救急救命士標準テキスト第11版、そのほかに適宜ハンドアウトを配布する。
留意点 備　考	科目の性質上講義資料や話題にセンシティヴな事柄が含まれるため、学生にも医療人としての倫理と守秘を求める。

成績評価	終講義試験により評価する。

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	死とはなにか	死の定義や統計に見られる死の状況を知り、現代日本における死とのかかわり方を学ぶ
2	死体現象	生体にはみられず、死体にのみみられる所見について学ぶ
3	内因性急死・中毒	疾病による死の中でも急死、薬毒物による中毒について学ぶ
4	損傷	人体が外部からの力を受けることで発生する傷害と、それにより引き起こされる結果を学ぶ
5	環境と死	温度変化など、周囲の環境による死や大規模災害による死について学ぶ
6	試験	
7	行政解剖	行政解剖見学

科目名	微生物学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Microbiology			総時間数	16	単　位	1
学　年	1	学　期	前期	曜　日	月	時　限	5･6

担当教員	酒井　学	実務者経験	平成18年8月1日から平成20年10月15日まで国立法人神戸大学医学部附属病院中央検査部、平成20年10月16日から現在まで国立法人大阪大学歯学部附属病院検査部にて臨床検査業務を担当している。令和5年4月1日から天理大学医療学部臨床検査学科所属、教育に携わっている。

学習内容	救急救命士に最低限必要となる基礎医学分野の微生物学を学ぶ。
到達目標	臨床の現場において必須となる微生物学の知識の習得を目指す。

準備学習 時間外学習	前期の生理学や病理学の復習が必要である。
使用教材	テキスト（救急救命士標準テキスト11版）出版社（へるす）、配布プリント
留意点 備　考	毎授業後に小テストを実施。期末テストを100%で評価する。

成績評価	

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	微生物とは？、感染症について	微生物とは何かを説明できる。
2	微生物とは？、感染症について	感染症の原因と関連疾患について説明できる。
3	感染予防について	微生物の取り扱いと使用する器具の説明ができる。
4	感染予防について	微生物の取り扱いと使用する消毒液の説明ができる。
5	微生物各論（細菌、ウイルス、寄生虫）	各種微生物（細菌、ウイルス）に関連する疾患について説明できる。
6	微生物各論（細菌、ウイルス、寄生虫）	各種微生物（寄生虫）に関連する疾患について説明できる。
7	まとめ	これまでの授業内容の復習。
7.5	試験	期末テスト

科目名	薬理学			必修/選択	必須	授業形式	講義
【英】	Pharmacology			総時間数	30	単　位	2
学　年	1	学　期	前期	曜　日	月曜日	時　限	5,6

担当教員	岩木一巳	実務者経験	2011年度～2018年度　武庫川女子大学・薬学部非常勤講師 2014年度～2021年度　城南女子短期大学・現代生活学科非常勤講師 2014年度～　　東洋医療専門学校・救急救命士学科非常勤講師

学習内容	薬理学とは薬物が身体に及ぼす影響（主作用・副作用）やその作用発現メカニズムを研究する学問であることを学ぶ。 救急救命士を目指す者として、取り扱いに関与する薬物のみならず、医療の分野で広く用いられる「薬」の知識を基礎から応用まで幅広く学習する。
到達目標	国家試験合格のレベルに留まらず、薬理作用、薬物療法についての一般的基礎知識を広く修得させ、救急現場で専門職としての実力を発揮できる救急救命士を育成する。

準備学習 時間外学習	事前および時間外の学習として、教本、資料概要プリント、補足説明資料等に目を通し、興味を持ったことや分からないところはインターネットや関連参考書を用いて調べる等、薬の作用に関する予習、復習を行うこと。
使用教材	テキスト（救急救命士標準テキス第11版ト：へるす出版） 理解力向上のため、自作の講義概要プリント、補足説明資料、確認問題を配布。
留意点 備　考	必ず、毎回の授業後に確認問題を用いた理解度をきっちり自己評価すること、さらに、教本や配布資料を読み返して、授業内容を振り返ることが望ましい。また、必要に応じて、参考書（救急現場の救急医療：荘道社、新ステップアップ 救急救命士国家試験対策 薬理作用：へるす出版）にも目を通すこと。

成績評価	期末の筆記試験（資料持ち込み不可）で評価する。

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	薬物総論	薬理学と薬物、医薬品に関する説明、薬機法、薬理作用の発現様式、保存と保守管理
2	薬理作用の作用機序	薬物が作用を発揮する仕組み
3	薬物の剤型、体内濃度	薬物の投与剤型、薬物の血中濃度・体内濃度（薬物血中濃度時間曲線）
4	投与量と作用の関係、投与経路	用量作用関係（用量－作用曲線）、投与経路、、各投与方法の利点と欠点
5	薬物の体内動態(1)	薬物動態（ADME）、吸収・分布・代謝・排泄の詳細
6	薬物の体内動態(2)	上記内容の続き、薬物動態の変動要因
7	薬物の有害作用(1)	薬物使用時の各種有害作用についての説明
8	薬物の有害作用(2)	反復投与に関係する問題点、研究開発段階で得られる有害情報
9	救急救命士が取扱に関与する薬物(1)	輸液・輸血製剤
10	救急救命士が取扱に関与する薬物(2)	アドレナリン、乳酸リンゲル液、ブドウ糖
11	アドレナリンと自律神経系用薬(1)	アドレナリンを中心としたカテコールアミンの作用
12	アドレナリンと自律神経系用薬(2)	自律神経系の働きと作用薬
13	注意を要する常用薬(1)	慢性疾患薬など注意を要する常用薬
14	注意を要する常用薬(2)	上記内容の続き
15	最終講義	講義内容全般（No.1～14）の振返り、重要ポイントの説明
16	期末試験	自習時間を設けた後に筆記試験（50分）を実施

科目名	公衆衛生学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Public Health			総時間数	16	単　位	1
学　年	1	学　期	後期	曜　日	金	時　限	5･6

担当教員	谷　　康平	実務者経験	

学習内容	健康の保持、予防医学の重要性を認識し公衆衛生分野について学ぶ。
到達目標	国家試験に出題される分野は勿論、救急救命士として必要な知識を習得できる。

準備学習 時間外学習	テキストの用語の読み方や意味を調べておく。重要なキーワードについてまとめてみる。 受講後に復習と自己学習をする。
使用教材	救急救命士標準テキスト第11版
留意点 備　考	

成績評価	終講義試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	公衆衛生とは	第42回国家試験について／保健統計・人口動態統計・死亡原因
2	感染症	感染症法・学校保健安全法
3	社会保障制度	医療保険 医療経済
4	〃	高齢者保健
5	〃	母子保健 栄養・食品保健
6	環境	4大公害 地球規模の環境問題
7	〃	国際保健 地域保健 疫学／予防医学
8		全体のまとめ と試験

科目名	社会保障・社会福祉			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Social Security･Social Welfare			総時間数	16	単　位	1
学　年	1	学　期	後期	曜　日	火	時　限	5･6

担当教員	中川　るみ	実務者経験	社会福祉士　1993-現在、ソーシャルワーカーとして実務を経験 社会福祉事務所所長

学習内容	社会福祉と医療、社会保障の関連について学ぶ 社会福祉の展開、低所得者対策、障害者福祉対策、年金制度について
到達目標	救急救命士に必要な社会福祉と医療、社会保障の関連について理解できる。

準備学習 時間外学習	授業で習ったことの復習をしておく。 重要なキーワードについてまとめていく。練習問題の実施。
使用教材	救急救命士標準テキスト第11版
留意点 備　考	

成績評価	終講義試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	社会保障について	各社会保険の種類（人口資料）
2	〃	〃
3	社会保険について	理念と仕組み等（いのち）
4	〃	〃
5	社会福祉について	制度と運用（ヘレン・ケラー）
6	〃	〃
7	まとめ	これまで習ったことの再確認
8	終講義試験	

科目名	救急医療　Ⅰ医学概論			必修/選択	必須	授業形式	講義
【英】	Emergency Medical Philosophy			総時間数	12	単　位	救急医療 すべてで3
学　年	1	学　期	前期	曜　日	月水	時　限	5･6

担当教員	矢野　博之	実務者経験	3年の消防経験(H10.救急救命士)その後、看護師として12年の臨床経験(H20.看護師)

学習内容	救急医学の本質・医学の発達、生命倫理と医の倫理などの基本的な考え方を学ぶ
到達目標	救急隊員としての社会的な責務について具題的に列挙できる。 日常的な業務について倫理的な意義を列挙できる。 業務の内容について傷病者・家族に分かりやすい説明が出来同意を得ることが出来る。

準備学習 時間外学習	講義で学んだことの復習及び重要キーワードについてまとめておく。
使用教材	救急救命士標準ﾃｷｽﾄ第11版、プリント資料
留意点 備　考	

成績評価	終講義試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	１．医学と歴史	学問の本質と医学、自然科学と人文科学、自然科学的思考、医学概論という学問、医療と医学の歴史的背景、医学の体系化、現代の医学系列、医療と病気
2	２．救急医療と救急医療体制	救急医療、救急医学とは、現代救急医療体制の概略、救急医療の対象、病院前救護とは、救急医療を医学的に保障するための構造、救命士業務の拡大と高度化、救命士の役割、救命士の責任など
3	３．医の倫理	医療者の倫理と生命倫理、医療者倫理の歴史、Ⅱ．生命倫理、医学進歩と生命倫理、「生活の質」と「生命の質」、人の死に関する倫理論議とLiving will、病院倫理規定と倫理委員会、厳格になったInformed Consent、終末期医療、尊厳死と安楽死、尊厳を保持した死を実施する場面について
4	症例について	救急医療汎用専門英語、スライドを見ながら症例について学ぶ
5	まとめ	テスト範囲の総まとめ
6	終講義試験	

科目名	救急医療　Ⅱ病院前救護			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Emergency Medical Treatment			総時間数	12	単　位	救急医療 すべてで3
学　年	1	学　期	後期	曜　日	火	時　限	5･6

担当教員	矢野　博之	実務者経験	3年の消防経験(H10.救急救命士)その後、看護師として12年の臨床経験(H20.看護師)

学習内容	救急医療の意義や救急医療体制、災害医療、メディカルコントロール、プレホスピタルケアとは何かを理解する。
到達目標	・現在の救急医療体制について説明できる。・災害医療特有の救急活動、行動規範について学ぶ。・最新の救急蘇生法を習得する。 ・病院前救護、メディカルコントロールの考え方につき学ぶ。

準備学習 時間外学習	
使用教材	救急救命士標準テキスト第11版、ほか。
留意点 備　考	

成績評価	筆記試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	救急医療体制	病院前医療、令和元年度版　救急・救助の現況
2	救急医療体制	救急医療システム（一般、周産期、精神科、小児救急医療体制）、救急医療情報（救急医療情報センター、救急安心センター）
3	災害医療体制	災害の概念、多数傷病者に対する対応、トリアージについて
4	災害医療体制	災害に関連する法的骨格は、特殊災害とは
5	病院前医療体制	救命の連鎖、救急蘇生法（ガイドライン2015）について、メディカルコントロールとは
6	試験	終講義試験

科目名	救急医療　Ⅲ救急活動の基本			必修/選択	必須	授業形式	講義
【英】	Emergency Medical Treatment			総時間数	12	単　位	救急医療 すべてで3
学　年	1	学　期	期間中随時	時　限	期間中随時	時　限	5･6

担当教員	金村　諭司		32年の消防経験(H7.救急救命士)挿管・薬剤認定

学習内容	救急救命士として、消防機関における救急活動の基本及び流れを学習する。
到達目標	救急救命士に関連する法令、救急救命士の役割や責任を理解した上で、通信指令室の役割や救急活動の流れを理解し説明できる知識を身につける。また、救急救命士としての生涯教育についても理解し説明できる知識を身につける。

準備学習 時間外学習	標準テキストの閲読と予習復習プリントの配布
使用教材	救急救命士　標準テキスト第11版（へるす出版）　　PPT資料
留意点 備　考	

成績評価	五肢択一若しくは択二の問題25問の筆記試験で評価する。

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	消防機関における救急活動の流れ	救急業務とは何か。その定義、基本原則及び対象等を理解する。
2	消防機関における救急活動の流れ	救急活動の基本（覚知から帰署後の書類作成まで）を理解しイメージする。
3	救急救命士の役割と責任	救急救命士の役割と責任を理解しイメージする。
4	救急救命士に関連する法規	救急救命士に関する法規、消防関係法規等を理解し、消防の職務をイメージする。
5	救急救命士の養成と生涯教育	救急救命士の養成と生涯教育について理解しイメージするとともに、救急救命士の将来について考える。
6	まとめと試験	

科目名	救急医療Ⅰ(医用電子工学)			必修/選択	必須	授業形式	講義
【英】	Medical Electronic Engineering			総時間数	12	単　位	救急医療 すべてで3
学　年	1	学　期	後期	曜　日	水	時　限	5

担当教員	藤江　建朗	実務者経験	約14年臨床工学技師として病院での経験

学習内容	救急分野で使用されるME機器の基本原理・基本操作・安全性について学ぶ
到達目標	・医用機器の特性について理解でき，安全に使用する事とは何か，について理解できる. ・救急救命士が使用するであろう医用機器，特に救急車に搭載されている人工呼吸器，モニター，半除細動器の原理，使用方法，使用上の注意点について理解することができる.

準備学習 時間外学習	講義で学んだことの復習
使用教材	プリント資料
留意点 備　考	

成績評価	終講義試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	医療機器の特性，故障率について理解する	板書とテキストを中心に講義を進めていく. 写真や動画など，必要に応じて，適宜スライドを使用する.
2	モニターに表示される心電図，血圧，SpO2，ETCO2の計測原理，アラームの考え方について理解できる.	板書とテキストを中心に講義を進めていく. 写真や動画など，必要に応じて，適宜スライドを使用する. また，必要に応じて，SpO2センサを使用して，原理について理解を深める.
3	除細動の必要な不整脈が理解でき，細動と頻拍の発生，除細動の原理，除細動を行う時の注意点について理解することができる.	板書とテキストを中心に講義を進めていく. 写真や動画など，必要に応じて，適宜スライドを使用する. また，必要に応じて，AEDパッドを使用して，貼付場所や貼付時の注意点，除細動が有効に行える場所についても理解できるように進めていく.
4	人工呼吸器を使用する目的，人工呼吸器の原理，使用方法，設定の意味，モード，使用上の注意点が理解できる.	板書とテキストを中心に講義を進めていく. 写真や動画など，必要に応じて，適宜スライドを使用する. また，実際の人工呼吸器回路を用いて，高圧･低圧アラームの考え方を理解する.
5	人工呼吸器を使用する目的，人工呼吸器の原理，使用方法，設定の意味，モード，使用上の注意点が理解できる. また、酸素ボンベの取り扱いについて理解する。	板書とテキストを中心に講義を進めていく. 写真や動画など，必要に応じて，適宜スライドを使用する. また，実際の人工呼吸器回路を用いて，高圧･低圧アラームの考え方を理解する. また、酸素ボンベの取り扱いについて理解でき、残量計算や交換方法について理解する。
6	試験	

科目名	観察・判断			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Observation･Decision			総時間数	20	単　位	1
学　年	1	学　期	後期	曜　日	水	時　限	5･6

担当教員	金村　諭司	実務者経験	32年の消防経験(H7.救急救命士)挿管・薬剤認定

学習内容	救急患者に対しての全身および局所の観察、緊急度重症度の判断とその対応を習得。
到達目標	適切な観察は、その後の適切な判断・処置には欠かせないものであり、それが重症度緊急度判断、病院選定、患者の予後に直接かかわってきます。適切な観察をするための方法とそれによって診られる徴候の意味が理解できることを目標とします。

準備学習 時間外学習	
使用教材	救急救命士標準ﾃｷｽﾄ第11版　及びプリント資料など
留意点 備　考	

成績評価	終講義試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	傷病者の観察	・観察の目的と意義、観察の方法・全身状態の観察
2	傷病者の観察	・バイタルサイン、外見、気道、呼吸、循環、神経の各所見とその意味について学習
3	傷病者の観察	・局所の観察
4	傷病者の観察	・皮膚、頭部・顔面・頸部、胸部、腹部、四肢の各所見とその意味について学習
5	傷病者の観察 重症度緊急度	・緊急度・重症度判断とその意義について学習
6	傷病者の観察 重症度緊急度	・緊急度・重症度判断とその意義について学習
7	傷病者の観察	・資器材による観察（・パルスオキシメーター　・カプノメーター　・聴診器　・血圧計　・心電図モニター　・体温計　・血糖測定器）
8	傷病者の観察	・資器材による観察（・パルスオキシメーター　・カプノメーター　・聴診器　・血圧計　・心電図モニター　・体温計　・血糖測定器）
9	まとめ	・まとめ（国家試験問題）
10	試験	・終講義試験

科目名	処置			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Treatment			総時間数	32	単　位	2
学　年	1	学　期	後期	曜　日	火	時　限	5･6

担当教員	矢野　博之	実務者経験	3年の消防経験(H10.救急救命士)その後、看護師として12年の臨床経験(H20.看護師)

学習内容	救急救命処置ならびに在宅療養者に対する処置について、その概念、目的、適応、手技、評価、合併症、留意点などを理解し、実施できるようになる。
到達目標	①各救命救急処置の目的、適応、禁忌、手技、合併症について学習する。 ②在宅療法中の傷病者に対し、発生し得る急性の問題点につき、その対処法を学習する。 ③傷病者に対する安全で確実な搬送法について学習する。

準備学習 時間外学習	
使用教材	救急救命士標準ﾃｷｽﾄ第11版
留意点 備　考	

成績評価	筆記試験

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	救急救命士が行う処置（呼吸関連）	・処置の目的と意義　・気道確保　（用手的、エアウェイ）　・気道異物除去（用手的、器具）
2	救急救命士が行う処置（呼吸関連）	・口腔内吸引　・声門上気道デバイスを用いた気道確保（LMA, LT,他）
3	救急救命士が行う処置（呼吸関連）	・気管挿管・気道確保のデモンストレーション
4	救急救命士が行う処置（呼吸関連）	・気管吸引
5	救急救命士が行う処置（呼吸関連）	・酸素投与（カニューレ、マスク、他）と合併症
6	救急救命士が行う処置（呼吸関連）	・人工呼吸（呼気吹込み、BVM、人工呼吸器）
7	救急救命士が行う処置（循環関連）	・胸骨圧迫（用手的、自動心マッサージ器）
8	救急救命士が行う処置（循環関連）	・除細動（マニュアル、半自動式、AED）
9	救急救命士が行う処置（循環関連）	・静脈路確保と輸液
10	救急救命士が行う処置（循環関連）	・各種薬剤の投与（アドレナリン、自己注射用アドレナリン、ブドウ糖）
11	救急救命士が行う処置（その他）	・体位管理（種類・適応・方法）　・体温管理（保温、冷却）
12	救急救命士が行う処置（その他）	・止血（直接圧迫・止血点圧迫・止血帯止血法）　・創傷処置
13	救急救命士が行う処置（その他）	・固定（種類、方法）
14	救急救命士が行う処置（その他）	・産婦人科領域の処置
15	救急救命士が行う処置（その他）	・在宅療法中の傷病者の処置（在宅酸素療法、在宅人工呼吸、気管切開、植込み型ペースメーカー、経管栄養、血液透析、腹膜透析、尿道カテーテル、人工肛門）
16	救急救命士が行う処置（その他）	・傷病者搬送
17	まとめ	・処置まとめ
18	試験	・終講義試験

科目名	検査学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Clinical Examination			総時間数	16	単　位	1
学　年	1	学　期	後期	曜　日	期間中随時	時　限	5･6

担当教員	朝日　佳代子 兒嶋　嵩 笹井　正思	実務者経験	【朝日　佳代子】 1994年4月～　大阪大学医学部附属病院　臨床検査部に所属 日常業務にて生理検査担当、当直業務にて輸血・血液検査経験 【兒嶋　嵩】 2013年4月～2015年3月　大阪大学医学部附属病院　医療技術部検査部門に所属 2015年4月～現在　大阪大学医学部附属病院　高度救命救急センターにて救急検査業務に従事 【笹井　正思】 1990年7月より大阪大学歯学部附属病院歯科放射線科（2007年より放射線科）に勤務し放射線診療に従事、現在に至る。

学習内容	検査学における、生理機能検査・血液検査・輸血検査について基礎的な内容を学ぶ。 救急医療における各臨床検査項目の目的、種類、検査データの評価方法を学ぶ。 単純エックス線撮影法、CT検査法、MRI検査法、血管造影法（Digital Subtraction Angiography）、内視鏡、核医学検査といった各種画像診断法の原理と特徴、適応疾患につき、画像を供覧しながら解説する。
到達目標	生理機能・血液（止血）・輸血検査について基礎的な内容の理解。救急救命士国家試験に対応可能なレベルへの到達。 救急救命士標準テキストに記載されている各臨床検査項目の臨床的意義や検査データの診方を理解し、医療スタッフとの情報交換・救急医療に役立てる。 各種画像診断法の利点、欠点を説明できる。

準備学習 時間外学習	前期開講の「解剖学・生理学」の知識を前提に、各種画像ではどのように描出されるかを供覧する。
使用教材	救急救命士　標準テキスト　第11版　　出版社（へるす出版）、スライドによる講義・配布プリント
留意点 備　考	

成績評価	選択式問題で評価

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	検査学1	臨床検査総論・一般検査【各臨床検査の目的・種類と検査結果の見方、および一般検査について】 臨床検査の目的や種類、検査データの診方が理解できる。一般検査の種類や臨床的意義が理解できる。
2	生理機能	心電図検査、肺機能検査、脳波検査について説明。 主な症例における心電図波形、肺機能検査における主な臨床評価を理解する。
3	画像診断学	内容：単純X線撮影、CT、MRI、超音波、血管造影、内視鏡、核医学検査につき概説する 目標：各種画像検査法の特徴（利点、欠点）を説明できる。
4	検査学2	生化学・血液ガス検査【生化学検査の臨床的意義・基準範囲・パニック値、および血液ガス検査について】 主な生化学検査項目の臨床的意義、基準範囲、パニック値が理解できる。また、血液ガス検査における酸素化や換気、酸塩基平衡の基本的な診方が理解できる。
5	血液	形態を含めた血液検査、止血検査について説明。 主な血液疾患と血液検査項目との関連について理解する。
6	検査学3	微生物検査【微生物検査項目の臨床的意義や検査の流れについて】 微生物検査の臨床的意義、および医療従事者となるうえで知っておくべき主な病原微生物が理解できる。
7	輸血	輸血検査について説明。 血液型・輸血検査の判定方法、輸血副作用について理解する。
8	試験	終講義試験

科目名	放射線医学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Radiology			総時間数	16	単　位	1
学　年	1	学　期	後期	曜　日	木	時　限	5･6

担当教員	笹井　正思	実務者経験	1990年7月より大阪大学歯学部附属病院歯科放射線科（2007年より放射線科）に勤務、放射線診療に従事し現在に至る。

学習内容	臨床で用いられる電離放射線の基礎的事項と生物への影響、放射線防護等の一般的な放射線学的知識と、 それを基として放射線障害要救護者対応・緊急被曝医療を学ぶ
到達目標	放射線の一般的知識を基に、放射線事故時の区域管理・スクリーニング・除染処置等の対応と緊急被曝医療体制の概要を理解する

準備学習 時間外学習	放射線物理学に関しては原子の構造・電離作用等の物理学的知識を、放射線生物学に関しては生体中でのDNAの役割等の生物学的知識を、放射線影響学に関しては組織の構造等の解剖学知識を、各々要する。前期開講の当該科目関連事項の復習が望まれる
使用教材	救命救急士テキスト第11版（ヘルス出版）　　配布プリント
留意点 備　考	環境省が公開している「放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料 平成30年度版」の閲覧を推奨いたします

成績評価	期末試験で評価する

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	放射線医学概説 放射線の利用	内容：暮らしや産業のなかでの放射線利用を解説する。目標：放射線利用法から放射線の各種の性質を説明できる。放射線施設は多様で身近に存在し、救急活動現場となりうることを理解する。
2	放射線の基礎知識	内容：放射性壊変と、放射線の種類について学ぶため、原子模型や崩壊形式について解説する。 目標：放射線の種類、分類とその性質につき説明できる。
3	放射線物理学	内容：放射線の一般的性質について解説する。目標：放射線、放射能、放射性同位元素の意味を説明できる。放射線に関わる単位（ベクレル・グレイ・シーベルト）について説明できる。
4	放射線生物学	内容：放射線の生物学的影響の発現機序と効果、放射線感受性について解説する。 目標：確率的影響と確定的影響（組織反応）の差異を説明できる。
5	放射線被曝と防護	内容：ICRPによる放射線防護の基本的な考え方を解説する。目標：対象者による被曝の区分（職業被曝・公衆被曝、医療被曝）、各種被曝様式（内部被曝と外部被曝）について説明できる。
6	放射線事故時の対応	内容：一連の放射線事故対応尾（線量測定、汚染拡大防止、区域管理）について解説する。 目標：時間、距離、遮蔽等の外部被曝への防護法と、区域管理の要点を説明できる。
7	緊急被曝医療体制 まとめ	内容：被曝事故傷病者に関わる一般的事項と緊急被曝医療体制について解説する。 目標：重度の被爆に関連して傷病者に現れうる症状等について、説明できる。
8	試験	後期試験

科目名	シミュレーション実習Ⅰ			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Simulation Training			総時間数	316	単　位	7
学　年	1	学　期	通年	曜　日	期間中随時	時　限	5･6

担当教員	喜代平　要一 金村　諭司	実務者経験	29年の消防経験(H13.救急救命士)挿管・薬剤認定 32年の消防経験(H7.救急救命士)挿管・薬剤認定

学習内容	救急救命士に必要な基礎を学ぶ。
到達目標	救急救命士に必要な基礎を学び、想定訓練に繋げれるようになる。

準備学習 時間外学習	実技を各自で行う。
使用教材	救急救命士　標準テキスト　第11版　　出版社（へるす出版）、配布プリント
留意点 備　考	

成績評価	BLS、救急救命処置Ⅰは試験を行う。

回	授業計画【テーマ・内容･目標】	
1	規律訓練	アンケート 規律訓練の目的、停止間、行進間
2	規律訓練	アンケート 規律訓練の目的、停止間、行進間
3	4つの習慣	キャリア教育の一環として、夢を実現する為の4つの習慣について
4	4つの習慣	グループワーク
5	規律訓練	停止間、行進間
6	規律訓練	停止間、行進間
7	規律訓練	停止間、行進間
8	規律訓練	停止間、行進間
9	規律訓練	停止間、行進間
10	規律訓練	停止間、行進間
11	規律訓練	停止間、行進間
12	規律訓練	停止間、行進間
13	規律訓練 固定処置	停止間、行進間 三角巾法
14	規律訓練 固定処置	停止間、行進間 三角巾法
15	リバーレスキュー	リバーレスキュー講義
16	リバーレスキュー	リバーレスキュー講義
17	固定処置	三角巾法、止血法

18	固定処置	三角巾法、止血法
19	固定処置	骨折の処置
20	固定処置	骨折の処置
21	固定処置 搬送法	骨折の処置 徒手搬送
22	固定処置 搬送法	骨折の処置 徒手搬送
23	搬送法	布担架、スクープストレッチャー
24	リバーレスキュー	リバーレスキュー実技
25	リバーレスキュー	リバーレスキュー実技
26	リバーレスキュー	リバーレスキュー実技
27	リバーレスキュー	リバーレスキュー実技
28	搬送法	メインストレッチャー
29	搬送法	メインストレッチャー
30	搬送法	メインストレッチャー
31	搬送法	メインストレッチャー
32	搬送法	その他の搬送法
33	搬送法	その他の搬送法
34	搬送法	その他の搬送法
35	搬送	救急車搬入及び搬出、保温法
36	搬送	救急車搬入及び搬出、保温法
37	BLS	JWEB導入、BLS導入
38	BLS	JWEB導入、BLS導入
39	BLS	シミュレーション
40	BLS	シミュレーション
41	BLS	シミュレーション
42	BLS	シミュレーション
43	BLS	シミュレーション
44	BLS	シミュレーション
45	BLS	シミュレーション
46	BLS	シミュレーション
47	BLS	効果測定

48	BLS	効果測定
49	観察	意識、呼吸、脈拍
50	観察	意識、呼吸、脈拍
51	観察	資器材観察(聴診)
52	観察	資器材観察(聴診)
53	観察	血圧、その他
54	観察	血圧、その他
55	観察	神経所見、触診
56	観察	神経所見、触診
57	訓練参加	合同訓練
58	訓練参加	合同訓練
59	訓練参加	合同訓練
60	訓練参加	合同訓練
61	救急救命処置Ⅰ	模試解説
62	救急救命処置Ⅰ	資器材の確認
63	救急救命処置Ⅰ	資器材の確認
64	観察	心電図導入
65	観察	心電図導入
66	観察	心電図導入
67	観察	心電図装着
68	観察	心電図装着
69	救急救命処置Ⅰ	異物除去説明 用手的異物除去
70	救急救命処置Ⅰ	喉頭鏡の使用法
71	救急救命処置Ⅰ	喉頭鏡の使用法
72	救急救命処置Ⅰ	喉頭鏡の使用法
73	救急救命処置Ⅰ	喉頭鏡の使用法
74	救急救命処置Ⅰ	器具を用いた異物除去
75	救急救命処置Ⅰ	吸引器の使用法
76	救急救命処置Ⅰ	吸引器の使用法
77	救急救命処置Ⅰ	用手的気道確保 器具を用いた気道確保

78	救急救命処置Ⅰ	用手的気道確保 器具を用いた気道確保
79	救急救命処置Ⅰ	呼吸管理セットの説明
80	救急救命処置Ⅰ	呼吸管理セットの説明
81	救急救命処置Ⅰ	BVMの使用法
82	救急救命処置Ⅰ	BVMの使用法
83	ロープ結索	ロープ結索
84	ロープ結索	ロープ結索
85	消防研修	プレホスピタルセミナー見学参加
86	消防研修	プレホスピタルセミナー見学参加
87	体力練成	トレーニング資器材の使用説明受講
88	体力練成	消防の体力試験に向けての練成方法
89	救急救命処置Ⅰ	状況評価 初期評価
90	救急救命処置Ⅰ	状況評価 初期評価
91	救急救命処置Ⅰ	状況評価 初期評価
92	救急救命処置Ⅰ	状況評価 初期評価
93	SPIテスト	SPIテスト
94	SPIテスト	SPIテスト
95	救急救命処置Ⅰ	徽章授与式訓練見学
96	救急救命処置Ⅰ	徽章授与式訓練見学
97	救急救命処置Ⅰ	シミュレーション訓練
98	救急救命処置Ⅰ	シミュレーション訓練
99	救急救命処置Ⅰ	シミュレーション訓練
100	救急救命処置Ⅰ	シミュレーション訓練
101	救急救命処置Ⅰ	シミュレーション訓練
102	救急救命処置Ⅰ	シミュレーション訓練
103	救急救命処置Ⅰ	シミュレーション訓練
104	救急救命処置Ⅰ	シミュレーション訓練
105	救急救命処置Ⅰ	シミュレーション訓練
106	救急救命処置Ⅰ	シミュレーション訓練
107	救急救命処置Ⅰ	シミュレーション訓練

108	救急救命処置Ⅰ	シミュレーション訓練
109	救急救命処置Ⅰ	シミュレーション訓練
110	救急救命処置Ⅰ	シミュレーション訓練
111	救急救命処置Ⅰ	効果測定
112	救急救命処置Ⅰ	効果測定
113	救急救命処置Ⅰ	効果測定
114	救急救命処置Ⅰ	シミュレーション訓練
115	救急救命処置Ⅰ	シミュレーション訓練
116	JPTEC	JPTEC導入
117	JPTEC	JPTEC導入
118	JPTEC	脊椎運動制限
119	JPTEC	脊椎運動制限
120	訓練参加	メディカルラリー
121	訓練参加	メディカルラリー
122	訓練参加	メディカルラリー
123	訓練参加	メディカルラリー
124	BLS	CPR講習導入
125	BLS	CPR講習導入
126	BLS	CPR講習（AMT）
127	BLS	CPR講習（AMT）
128	BLS	CPR講習（JT）
129	BLS	CPR講習（JT）
130	JPTEC	導入講義
131	JPTEC	導入講義
132	JPTEC	車外救出
133	JPTEC	車外救出
134	模擬試験	第6回模擬試験
135	模擬試験	第6回模擬試験